

論文試験課題例

【I種試験：行政A】

奈良県では、20歳から64歳までの女性の就業率が全国最下位となっており、女性の働き方改革と仕事場づくりが課題となっています。

そこで、県内における女性の就業率が低い要因を整理・分析した上で、女性が就労により能力を発揮し活躍するために行政としてどのような施策に取り組むべきか、具体的に述べなさい。

【I種試験：総合土木】

奈良県では、「もっと良くなる奈良」を目指し、令和2年3月に第2期「奈良県地方創生総合戦略」を策定したところです。この第2期「奈良県地方創生総合戦略」に位置づけられた基本目標のうち、以下の2つについて、奈良県の現状と課題を述べたうえで、それぞれの基本目標を達成するために、必要となる社会資本整備に関する具体的な取組について、あなたの考えを述べなさい。（回答順は問わない。）

- ・ 愉しむ「都」をつくる
～県民が安心して快適に暮らし続けられる奈良をつくる～
- ・ 便利な「都」をつくる
～県土マネジメントを推進し、効率的で便利な交通基盤をつくる～

【I種試験：造園】

奈良県は奈良公園を筆頭に現在10の県営公園を有し、観光振興や県民レクリエーションの場の提供を行っている。また、今後も全国規模のイベント開催地整備や新しい観光拠点整備のため、新規都市公園整備や既存公園の改修を進めている。

しかし、その一方で、施設の老朽化対策や公園整備・運営のための財源確保、史跡名勝の保全と利活用のあり方、コロナ禍における県民レクリエーションの場の提供方法、奈良らしいランドスケープの構築など、様々な課題を抱えているのも事実である。

そこで、奈良県の今後の都市公園行政において、あなたが重要と考える課題を一つ提示し、その課題解決に向けて奈良県がどのように取り組んでいくべきか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【I種試験：建築】

新型コロナウイルス感染症による影響が世界中に広がっており、今後の世界は大きく変わるといわれている。ソーシャルディスタンスを確保した日常生活、在宅勤務などの働き方の変革、IoTの普及など、私たちの暮らしは大きく変わろうとしている。

これまで、東京一極集中、過疎、空き家空き地、所有者不明土地、コンパクトシティなど、都市を巡る様々な課題が議論され、施策として取り組まれてきた。今後も日本の人口・世帯数の減少、少子化、超高齢社会が大きく変わらない中で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた後の「都市のあり方」や「就業・余暇といった暮らしのあり方」について、行政としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【I種試験：電気】

奈良県では、設備分野総合職として採用された職員が県有建築物を構成する設備の維持管理や工事監理を担当することがあります。そこで、次の2点について述べなさい。

1. 次の語群は電気設備の例ですが、これらの中から3つ以上を題材に選び、建築物を構成する電気設備について、知るところを述べなさい。
語群：電力設備、受変電設備、電力貯蔵設備、発電設備、通信・情報設備、中央監視制御設備、医療関係設備
2. これまでにあなたが得たことの中で、電気設備の維持管理に活用できると考える具体的な知識や技術について述べなさい。

【I種試験：機械】

奈良県では、設備分野総合職として採用された職員が県有建築物を構成する設備の維持管理や工事監理を担当することがあります。そこで、次の2点について述べなさい。

1. 次の語群は機械設備の例ですが、これらの中から3つ以上を題材に選び、建築物を構成する機械設備について、知るところを述べなさい。
語群：空気調和設備、自動制御設備、給排水衛生設備、ガス設備、浄化槽設備、昇降機設備、機械式駐車設備、医療ガス設備
2. これまでにあなたが得たことの中で、機械設備の維持管理に応用できると考える具体的な知識や技術について述べなさい。

【I種試験：化学】

近年、地球規模で増加している豪雨や猛暑の背景には、地球温暖化による影響があると考えられており、奈良県においても、過去50年間で平均気温が約0.9℃上昇し、また、ソメイヨシノの開花時期が早まっているなど、身近なところにも気候変動の影響が現れてきている。

その対策には、地球温暖化の原因とされている二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を削減する「緩和策」と、気候変化に対して自然生態系や社会・経済システムを調整することにより温暖化の悪影響を軽減する「適応策」がある。

本県の特性を踏まえ、この両面から、地球温暖化対策としてどのような取組が効果的であるか、あなたの考えを述べなさい。

【I種試験：農学】

奈良県では、食と農の振興に関する基本理念とその振興の施策の基本となる事項を定めることにより、食と農の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって県民の健康で豊かな生活の向上及び地域経済の健全な発展に寄与することを目的に、「奈良県豊かな食と農の振興に関する条例」を制定し、令和2年4月1日に施行しました。

本条例の基本的施策として、「食の提供の充実」、「食を楽しむ機会の拡大」、「健康的な食生活の実現」、「子どもの健全育成」の4つを掲げています。

現在県では、本条例に基づき、食と農の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための「食と農の振興に関する基本計画（以下「基本計画」という。）」を作成しているところです。

そこで、4つの基本的施策のうち2つを取り上げ、奈良県農業の現状と課題を踏まえて、基本計画にどのような目標を設定し、その目標を達成するためにどのような取組をすべきか、その理由も含めて、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【I種試験：林学】

森林は、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標のうち、目標15：「陸の豊かさを守ろう」をはじめ多くの目標に関係しているが、近年、長引く木材価格の低迷や林業就業者の減少・高齢化などにより、施業放棄森林が増加し、森林の多面的機能の低下が危惧されている。

そのような中で、国においては、SDGsの目標達成に向け、2018年12月に「SDGsアクションプラン2019」を決定し、森林・林業・木材産業に関連するものとして、「林業の成長産業化と森林の多面的機能の発揮」のための具体的な取組の方向性などが示されたところである。

そこで、奈良県の森林・林業・木材産業において、「林業の成長産業化と森林の多面的機能の発揮」のため、今後どのような施策を展開すればよいか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

【I種試験：警察行政】

奈良県警察では令和3年奈良県警察重点目標に「社会の変化に適応する警察基盤の確立」を掲げている。社会の変化に適切な対応をする上で警察行政職という立場でどのようなことに取り組んでいきたいのか。あなたの考えを具体的に述べなさい。

【I種試験：薬剤師】

医薬品の安全確保のためには、所管の行政機関が副作用情報を早期に把握することが重要である。そのためには、医療現場から副作用情報を集める仕組みが必要である。

副作用報告の制度について述べるとともに、なぜ、そのような制度となっているのか、現状と課題、そして薬剤師としての役割について論じなさい。

時事論文試験課題例

【I種試験：行政B】

奈良県では、人口動態や経済社会情勢が大きく変化する中、県民満足度調査や経済、医療、福祉、教育など広範な分野にわたる統計資料などから、県の強み・弱みを分析し、目指すゴールを明らかにした上で、体系化した戦略を策定し、県内の行政資源（人材、財源、施設・設備）を総動員して「奈良県の力の底上げ」を図ろうとしています。

そこで、あなたが考える奈良県の弱みを整理・分析した上で、その弱みを補強するために有効な施策を具体的に述べなさい。